

出・品・者・の・声

認定品



塩の道起点「さがらの塩」

出品者：まきのほら未来創造塾

駿河湾の良質な海水を使い、伝統的な製法を学び、独自の手法で手作りしています。ミネラル成分を含んでいるので、塩角がなく、ほんのりとした甘味を感じることもできるお塩です。



問い合わせ 牧之原市須々木2611 ☎090(8865)0157



糖流アロエ緑茶「アロエだから!!」

出品者：有限会社アロエランド

牧之原のお茶にアロエベラやキダチアロエを加えた混合茶です。普段の食事では取りにくい亜鉛が多く含まれています。抗酸化力は、黒ごまの383倍で生姜の100倍です。

*一般財団法人日本食品分析センター調べ。



問い合わせ 牧之原市片浜783番地1 ☎03355



茶柱ティーバッグ「ふく子」

出品者：株式会社常楽園

古来より、茶柱が立つことは縁起が良いと言われていました。ふく子は、牧之原市産のやぶきた煎茶を原料としています。いつでも、どこでも香り高い、そして縁起のいい牧之原茶を楽しめます。



問い合わせ 牧之原市細江550番地1 ☎01147



静岡ゴマ「和静香-なごみずかー」

出品者：小笠原製茶

和静香は静岡産100%にこだわり、栽培期間中農薬を使用せずに育てた安心なゴマを使用しています。昔ながらの古式圧搾で時間をかけて搾油を行い、一番搾りのごま油だけにこだわりました。



問い合わせ 牧之原市須々木1249番地2 ☎0353



商品の最終選考をする審査員



まきのほら産業フェアで認定書を受け取る出品者

【審査内容（各5段階評価）】

- ①商品またはアイデアから牧之原の「人・郷土・歴史」を感じることができること
- ②商品またはアイデアが市民に「愛される」ものであること
- ③牧之原を代表する商品またはアイデアとして「安全で優れている」こと
- ④商品またはアイデアは作り手の「情熱・愛情」があること

【ロゴデザインのコンセプト】

シンボルマークは市の花「アジサイ」をモチーフにしています。円形のアジサイは市の人々の絆やつながりを表現しています。また、アジサイの花言葉には「強い愛情」「団結」「元気」「平和」などがあり、寄り集まって咲いている花びらを市の逸品に見立てています。カラーリングは市の歌の歌詞にある「うみそら・みどり」の配色です。

牧之原市商工会では、牧之原の魅力を感じられる商品やアイデアを、「まきのほらブランド」として認定する事業を始めました。応募総数40点の中から、お茶を使った商品や衣類、特産品など14点が書類選考を突破し、11月10日、最終選考が商工会相良事務所で行われました。審査は「作り手の情熱があるか」や「市民に愛される

ものか」などを5段階で評価。出品者は1人5分間の持ち時間、西原茂樹市長をはじめ富士山静岡空港株式会社の出野勉社長、市商工会の本杉芳郎会長ら7人の審査員に商品の魅力を説明しました。最終審査の結果、5つの認定品と2つのアイデア賞が選出され、11月27日に行われた「まきのほら産業フェア2016」で発表されました。

アイデア賞

- ▼緑茶染め作業衣（椀地織物）
- ▼牧之原産「さわら（鱈）一匹さ〜ら」（小野田悟）

認定品

- ▼糖流アロエ緑茶「アロエだから!!」（有限会社アロエランド）
- ▼塩の道起点「さがらの塩」（まきのほら未来創造塾）
- ▼静岡ゴマ「和静香-なごみずかー」（小笠原製茶）
- ▼茶柱ティーバッグ「ふく子」（株式会社常楽園）
- ▼山のうなぎ「自然薯」（牧之原自然薯ファミリー）

逸品セレクション2016

「認定品」決定!

まきのほらブランド



まきのほらブランド
まきのほらブランド「ロゴデザイン」

アイデア賞

緑茶染め作業衣

出品者：椀地織物

緑茶染め先染織物を使用し、市内にて製織、縫製しています。百貨店基準の商品検査に適合する商品です。

問い合わせ 牧之原市細江4336番地1 ☎0876



牧之原産「さわら（鱈）一匹さ〜ら」

出品者：小野田悟

カマ焼きやみそ漬け、刺身など、一匹分すべてを真空パックで冷凍販売することを提案。

*商工会では、今後ブランド化に向け協力体制を築いていきます。



山のうなぎ「自然薯」

出品者：牧之原自然薯ファミリー

自然薯ファミリーは、市内16戸の農家からなる団体です。私たちが作る自然薯はきめが細かく、強い粘り気が特徴で、滋養強壮や整腸作用にも優れています。11月からの収穫期となります。



問い合わせ 牧之原市畦ヶ谷367番地 ☎0919(代表者)

